



2019  
平成31年

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。  
お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課  
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
☎ 3430-1111 FAX3430-6870  
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press  
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3  
ル・ミリオン・イイダ3階A号  
☎ 3430-6617 FAX3430-6743

1

## 文化・芸術活動の拠点



狛江エコルマホール

### 本格的なホールに高い評価

狛江エコルマホール（狛江市民ホール・元和泉1-2-1）は狛江市の文化・芸術活動の拠点として平成7年にオープンした。現在では、国内外の音楽や演劇の一流アーティストの公演が年間を通じて開催されるほか、市内外のアマチュアにとってあこがれのひのき舞台となっており、多くの人に親しまれている。

同ホールは、狛江駅北口再開発にともなって建設されたエコルマ1ビルの4

階から6階に開設された。計画段階から市民や市内在住の演劇、音楽関係者の意見や要望を取り入れ、「市民の芸術・文化の拠点」「一流アーティストの良質な公演の提供」という2つの目標を実現するため、本格的な質の高い設備を導入した結果、「良い音が出る音楽ホール」としてプロのアーティストからも高い評価を得ている。

施設の中心となるホールは4階にあり、客席数は728席（うち車イス席3）。舞台は間口15m、奥行き12.8mで、

幅広いジャンルの音楽や演劇に対応できるようゆとりを持たせてある。また、照明や音響などの付属設備も質・量ともに充実しており、演奏用のグランドピアノとして世界的に有名なブランドのスタインウェイを備えている。

また、リハーサル室（面積85平方メートル）は防音完備



で、アップライトピアノ、バレエ用シートなどを備え、本番に向けての練習ができるようにしている。楽屋は洋室2室（同15平方メートルと14平方メートル）、和室2室（同15平方メートルと35平方メートル）があり、大人数の公演にも対応できるようになっている。

ホワイエは西側の窓を全面ガラス張りとして駅前の北口広場や山並みを眺められるようになっており、天井を市の木「イチヨウ」をアレンジした照明で飾るなど、訪れた人がゆったりと歓談できるように配慮されている。

5階には会議室（同34平方メートル）と和室（同34平方メートル）、文化芸術活動に取り組む市民や団体が情報交換などを行えるアートサロンがある（要登録）。

6階にある展示・多目的室（同266平方メートル）は机45脚、折り畳みイス135脚を備えるほか、音響機材も利用でき、展示会やセミナー、講演会などに広く利用されている。

開館時間は午前9時～午後10時。休館は月（3月と12月は第2・4回）、ただし祝日の場合は翌日、年末年始（今年4日迄まで）。

問い合わせ ☎ 3430-4106（一財）狛江市文化振興事業団。



展示・多目的室

### 狛江市文化振興事業団

#### 総合型の文化芸術振興施設

一般財団法人狛江市文化振興事業団は、エコルマホールの開設に合わせて設立され、狛江市民及び地域社会の文化の向上と市民福祉の増進を図り、豊かな市民生活の形成に寄与することを目的としている。

指定管理者制度を採用した平成18年度からは、指定管理者としてエコルマホールの管理・運営を行っている。

同事業団では、エコルマホールを鑑賞型事業を中心として、そこに自主制作型事業と支援型事業を加えた総合型の文化芸術振興施設と位置付け、その実現に取り組んできた。

また、エコルマ懇談会の設置、「音楽の街—狛江」構想に基づく事業や「絵手紙発祥の地—狛江」各事業を通じた狛江市の魅力発信などを手がけ、来年度も引き続き市民や関係団体が参画して事業展開を行うなど事業の充実を図ることとしている。

#### 自主事業公演が好評

エコルマホールでは、時代の流れと市民ニーズに合わせた自主事業公演を行っており、29年度はホールで22件、ロビーで6件の公演を催し、のべ11,758人が入場した。

鑑賞型事業 プロを招く鑑賞型の公演は、事業の大きな柱に位置付けられ



リハーサル室



ホワイエ

ており、厳選された良質の公演を低料金で提供している。また、プロとステージを共有できる参加公演や親子向け公演、さらに鑑賞公演に付随して青少年向けのプレ・コンサート、公開リハーサルを行うなど、未来の観客づくりにも力を注いでいる。

自主制作型事業 市民と協働して行う自主制作型の公演にも積極的に、市内在住の音楽家などが出演する「エコルマ・アンサンブルコンサート」を催したり、多くの市民にホールに気軽に親しんでもらう「ふらっとエコルマ、オープンハウス」や、気軽に音楽に触れられる「ほっとライブ」も行っている。

9回目の「ふらっとエコルマ、オープンハウス」は2月17日（日）午前10時～午後5時に開催され、今回は「コーラス（合唱）」をテーマに取り上げ、東京混声合唱団や狛江ゆかりの愛好団体などが出演、世代別のコンサート、ワークショップなどを催す。

支援型事業 市内の芸術文化団体や若手芸術家などの活動を手助けする文化芸術支援事業を行っており、ジャズや太鼓、合唱、邦楽などの団体がコンサートを開催した。

また、事業団には、芸術・文化の普及を目的とした会員制システム「倶楽部」がある。年会費1,500円で、事業団主催の公演チケットの割り引きや優先販売・予約などの特典を受けられる。現在約800人が登録しており、会員の6割を狛江市民が占めている。

また、自主公演などの運営を手伝うボランティア組織「エコルマサポーターズ」があり、現在約20人が登録しており、募集は随時受け付けている。

#### 音楽の街、絵手紙事業を展開

エコルマホールの管理・運営のほか、事業団では「音楽の街—狛江」推進事業と「絵手紙発祥の地—狛江」事業を展開している。

「音楽の街—狛江」推進事業では、



開館20周年企画「第九」コンサート



小中高生向けプレ・コンサート

音楽の街—狛江 エコルマ企画委員会と協働で駅前ライブ、学校公演、市役所ロビーコンサート、保育園などでのエリアコンサートなどを催すほか、市内の小中学校の児童や生徒の音楽活動の支援、特別支援学級を中心とした音楽交流事業などを実施、音楽を通じて地域の活性化や文化の振興、次世代に向けた人材育成など音楽活動の活性化を目指した活動を実施している。

また、市内で開催される大きな音楽祭を主催したり、協力している。



駅前ライブ

「絵手紙発祥の地—狛江」事業では、「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会と協働で絵手紙に関するイベントを企画・開催。29年度は絵手紙教室5回連続講座、絵手紙ひろば19回を開催したほか、講師の派遣を20回行い、のべ1,785人が参加した。今後は絵手紙を通じた文化の振興に加え、観光振興・産業振興も視野に入れた事業を展開することとしている。



絵手紙教室



エコルマホール外観